

鉄山 (1563m)

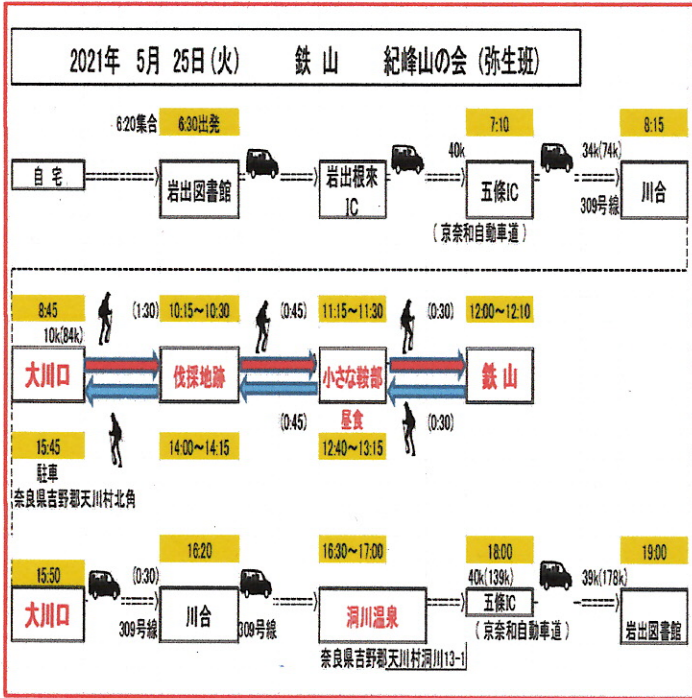
紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ----- 2021年5月25日(火)

(メンバー) --- 計7名 (弥生班4名、他班3名)

※(行程) [予定]

※(行程) [結果]



(往路---車移動)

- 岩出図書館 (出発) 6:30
- 大川口駐車場 (到着) 8:30

(山行).

- ① 大川口登山口 ----- 8:40
- ② 伐採地跡 ----- 10:15
- ③ 小さな鞍部 ----- 11:15
- ④ 鉄山 山頂 ----- 11:45
- ⑤ 小さな鞍部 ----- 12:30

(昼食)

- ⑥ 伐採地跡 ----- 14:00
- ⑦ 大川口登山口 ----- 15:30

(帰路---車移動)

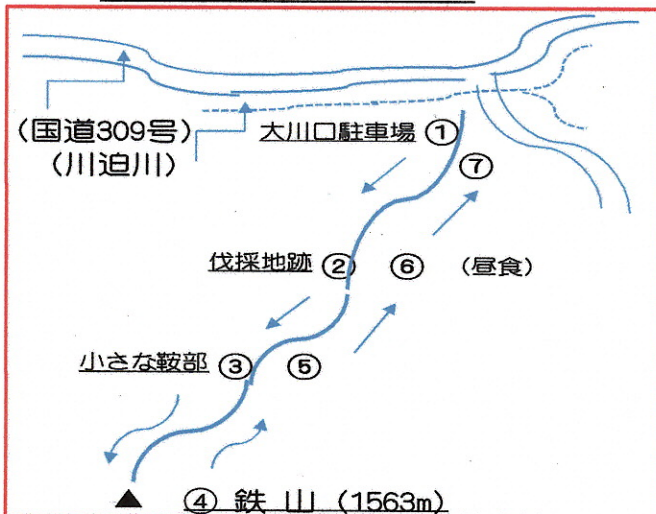
- 大川口駐車場 (出発) 15:40
- 洞川温泉
- 岩出図書館 (到着) 19:00

※[はじめに]

・今年、5月中旬から梅雨入りとなり、大雨の日が続き、山行計画を立てにくい今日この頃であります。
 そんな中で、前日まで雨模様で本日は曇り空の天気予報であり、途中で引き返すことも頭に入れ、鉄山山行を決行しました。

今回の山行のテーマは、「**安全第一を念頭に急登山行へ挑戦**」で、出発進行。

(鉄山の山行ロードマップ)



(写真1) (国道309号、川迫川で、後は鉄山)



- ・和歌山出発時は、前日の雨で肌寒くどんよりと曇り空でしたが、国道309号線に入り、川迫川沿いを進むと青空が広がってきた。
- ・鉄山が見えてきたので途中車を止め休憩。何となく上高地の雰囲気があり、本日最初の記念撮影。

(写真 2) (大川口登山口)



・大川口登山口を8:40に出発。

(写真 5) (バリコヤの頭)



・樹林帯が続いていたが視界が広がるところで、最初の一休み。
写真は、稲村ヶ岳から続く「バリコヤの頭」。
青空によく映えている。

(写真 3) (急登が始まる)



・最初から急登となり、早くもメンバーの息が荒くなる。

※小休憩後、前へ進んでいくと色々なお花で気分が和らぐ。暫くはフラワーのショウタイム

(写真 6) (シロヤシオ)



・ネットで調べると、ツツジ科の落葉樹で、葉は縁が薄く赤く色づくことがある。枝先に5枚の葉が輪生状に付くことから、別名としてゴヨウツツジ(五葉躑躅)とも呼ばれる。

(写真 4) (急登が続く)



・最初は楽しい会話があったが、急登が続く無言で進んでいく。

(写真 7) (アカヤシオ)



(写真8) (ギンリョウソウ・銀竜草)



・ネットで調べると、イチヤクソウ科の多年草。樹木と共生する菌類に寄生する腐生植物。(正しくは寄生植物)。間接的に樹木の光合成生産物を栄養にしている。従って自らは光合成を行わないので葉緑素を持たない。暗い林の中に白色で佇むためにユウレイタケの別名がある。

(写真9) (シャクナゲ)

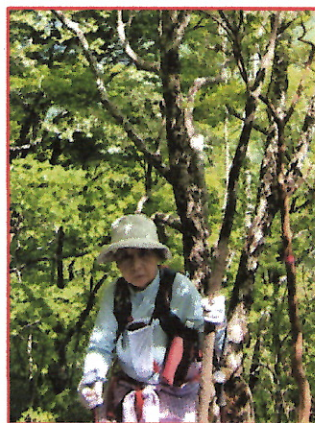
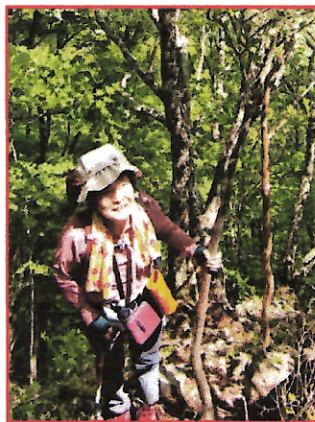


(写真10) (シャクナゲ と 姥桜?)



・花に負けじと笑顔で、ハイポーズ。

(写真11) (本日の山行[出演]メンバー7名)



(写真12) (小さな鞍部—鉄山平にて)



- ・11:15、鉄山頂上前の鉄山平に到着。
晴天となり、周囲の山々が見えて絶景。
色々な山を背に記念撮影。(バックは鉄山)

(写真15) (鉄山平から北側方面)



- ・手前から、バリゴヤの頭、大日山、稲村ヶ岳、

(写真13) (鉄山平にて---バックは弥山)



(写真16) (鉄山平から北東側方面)



- ・左から、大普賢岳、小普賢岳、七曜岳、日本岳、行者還岳

(写真14) (鉄山平にて---バックは大普賢岳)



(写真17) (鉄山平から南側方面)



- ・正面は、弥山。
右側はこれから上る鉄山山頂への登り口

(写真 18) (鉄山の山頂標識)



- ・山頂へは、木の根っこを掴んでよじ登る所やロープ、岩場のカニ渡りといったスリルが味わえる場面の連続であった。11:45到着

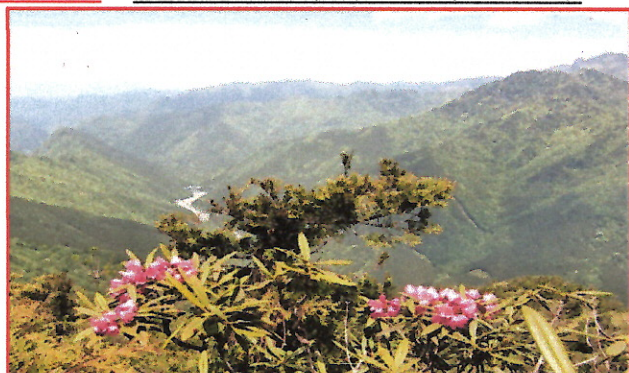
(余談)

- ・急登をよじ登ってスリルを味わっている時、誰かが、「地獄や」と悲鳴を上げる。次に他のメンバーが、「地獄の先には天国が待っている」とすかさず返す。又、坂の上り下りでは、滑りそうなので、「行きはよいよい、帰りは怖い♪～♪」と、声をかけながら、楽しいのか、怖いのか？汗や冷や汗が噴き出て、あっという間に頂上へ。

(写真 19) (鉄山の山頂で)



(写真 20) (山頂からの絶景とジャクナゲ)



(写真 21) (鉄山平で昼食)



- ・12:30～13:10、鉄山平に引き返し、楽しいランチタイム。「先ずは、ノンアルコールで乾～杯♪」絶景を見ながら喉に染み渡る。来てよかったと実感が沸く瞬間である。幸せ!

(写真 22) (15:30 下山)



[最後に]

- ※・今回の鉄山は思っていた以上にハードであった。梅雨入り後であったが晴天となり、周りの山々(弥山、行者還岳、大普賢岳等)の展望が開け、大自然を堪能できた。**「安全第一で急登山行へ挑戦」**を果たし、全員、来てよかったと満足の山行でした。